資料９－１

エトフェンプロックス（案）

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：エトフェンプロックス[Etofenprox(ISO)]

（２）用途：殺虫剤

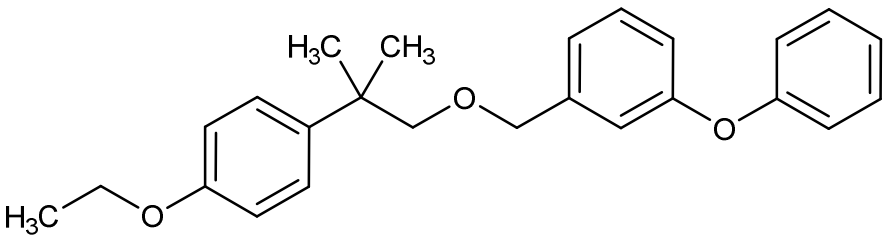
ピレスロイド様の活性を示す殺虫剤である。神経軸索におけるナトリウムチャンネルの働きを阻害することにより、殺虫活性を示すと考えられている。

（３）化学名

2-(4-Ethoxyphenyl)-2-methylpropyl 3-phenoxybenzyl ether (IUPAC)

1-[[2-(4-ethoxyphenyl)-2-methylpropoxy]methyl]-3-phenoxybenzene (CAS)

（４）構造式及び物性



分子式	$C_{25}H_{28}O_3$
分子量	376.49
水溶解度	22.5 μg/L（20℃）
分配係数	$\log_{10}$Pow = 6.9（20℃）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

（１）国内での使用方法

① 0.50%エトフェンプロックス粉剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｲﾈﾂﾄﾑｼ	4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ｶﾒﾑｼ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ成虫 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｲﾅｺﾞ類 ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ	3～4 kg/10 a				
	ｲﾈﾋﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ	3 kg/10 a				
小麦	ﾋﾒﾄﾋﾞｳﾝｶ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内		2 回以内
すいか	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	4 kg/10 a	収穫 3 日まで	3 回以内		3 回以内
きゅうり	ｳﾘﾊﾑｼ	3～4 kg/10 a	収穫前日まで			
はくさい	ｱｵﾑｼ		収穫 7 日前まで			
だいこん			収穫 21 日前まで			
豆類 (種実)	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｱｽﾞｷﾉﾒｲｶﾞ	4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内		2 回以内
えだまめ	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	3～4 kg/10 a				
	ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ	4 kg/10 a				

① 0.50%エトフェンプロックス粉剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
やまのいも	ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ	4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
さといも	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ					
かんしょ	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ﾅｶｼﾞﾛｼﾀﾊﾞ		収穫 7 日前まで			
とうもろこし	ｱﾜﾉﾒｲｶﾞ			4 回以内		4 回以内
キャベツ	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｱｵﾑｼ	3～4 kg/10 a	収穫 3 日前まで	3 回以内		3 回以内
れんこん	ﾏﾒｺｶﾞﾈ	4 kg/10 a	収穫 14 日前まで			

② 0.40%エトフェンプロックス粉剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｶﾒﾑｼ類	3 kg/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

③ 1.5%エトフェンプロックス粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾈｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾋﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ ｲﾅｺﾞ類 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	2～3 kg/10 a	収穫 21 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ﾆｶﾒｲﾁｭｳ（第一世代）	3 kg/10 a				
さとうきび	ﾊﾘｶﾞﾈﾑｼ類	9 kg/10 a	植付時	1 回	植溝土壌混和	1 回
れんこん	ｲﾈﾈｸｲﾊﾑｼ	3 kg/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
畑わさび	ﾅﾄﾋﾞﾊﾑｼ		植付時	1 回	植溝土壌混和	2 回以内（植付時の土壌混和は 1 回以内、散布は 1 回以内）
			収穫 14 日前まで		散布	
わさび			畑育苗期ただし、植付時		植溝土壌混和	
			畑育苗期		散布	

④ 20.0%エトフェンプロックス水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	2000 倍	60～150 L/10 a	収穫21 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
かんきつ	ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ ﾁｬﾉｺｶｸﾓﾝﾊﾏｷ		200～700 L/10 a	収穫14 日前まで			
りんご	ﾓﾓｼﾝｸｲｶﾞ ｷﾝﾓﾝﾎｿｶﾞ	1000～ 2000 倍					
	ﾊﾏｷﾑｼ類	2000 倍					
なし	ｼﾝｸｲﾑｼ類 ﾅｼﾁﾋﾞｶﾞ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000～ 2000 倍					
	ﾊﾏｷﾑｼ類	2000 倍					
もも	ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ	1000 倍					
	ｼﾝｸｲﾑｼ類	2000 倍					
くり	ｸﾘｼｷﾞｿﾞｳﾑｼ						
かき	ｶｷﾉﾍﾀﾑｼｶﾞ ﾁｬﾐﾉｶﾞ	1000～ 2000 倍		収穫30 日前まで			
	ﾊﾏｷﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ ｶｷｸﾀﾞｱｻﾞﾐｳﾏ	1000 倍					

⑤ 10.0%エトフェンプロックス・10.0%イミベンコナゾールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
だいず	紫斑病 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ	1000 倍	150～300 L/10 a	収穫 30 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
		8 倍	800 mL/10 a			無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布	

⑥ 10.0%エトフェンプロックス・20.0%フサライドフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ﾋﾒﾄﾋﾞｳﾝｶ ｶﾒﾑｼ類	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
		300 倍	25 L/10 a				
		8 倍	0.8 L/10 a			無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布	

⑦ 6.2%エトフェンプロックス・8.0%トリシクラゾールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	120～180 倍	25 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
		650 倍	100～150 L/10 a				
		20 倍	3 L/10 a			空中散布	
		5 倍	800 mL/10 a				
	いもち類 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	原液	150 mL/10 a				
		5 倍	800 mL/10 a			無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布	

⑧ 5.0%エトフェンプロックス・20.0%チオファネートメチルフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 墨黒穂病 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ	500 倍	60～200 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ｳﾝｶ類						
	いもち病 紋枯病 ｶﾒﾑｼ類	4 倍	0.8 L/10 a			無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布	
						空中散布	

⑨ 0.020%エトフェンプロックス・0.040%DBEDC 水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
きゅうり	うどんこ病 べと病 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	原液	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
トマト	灰色かび病 葉かび病 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類			2 回以内		2 回以内

⑩ 20.0%エトフェンプロックス乳剤

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	－	ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ	1000倍	60～150 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
		ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾅｺﾞ類	1000～2000倍					
		ｶﾒﾑｼ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ	2000倍					
		ｳﾝｶ類	300～600倍	25 L/10 a				
		ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ	300倍					
		ｶﾒﾑｼ類	600倍					
キャベツ		ｱｵﾑｼ ｺﾅｶﾞ ﾖﾄｳﾑｼ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000～2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで			
はくさい					収穫7日前まで			
だいこん					収穫21日前まで			
ブロッコリー		ｱｵﾑｼ			収穫前日まで			
ねぎ		ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ	1000倍		収穫21日前まで	2回以内		2回以内
レタス		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
すいか		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ﾖﾄｳﾑｼ			収穫3日前まで			
メロン		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類				4回以内		4回以内
かぼちゃ		ｺﾅｼﾞﾗﾐ類			収穫前日まで	3回以内		3回以内
なす								
ピーマン		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000～2000倍					
オクラ		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類	1000倍					
きゅうり		ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類						
にがうり		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｳﾘﾉﾒｲｶﾞ ｶﾒﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ﾖﾄｳﾑｼ類						

⑩ 20.0%エトフェンプロックス乳剤（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用場所</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>トマト</td><td rowspan="15">－</td><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td rowspan="5">1000 倍</td><td rowspan="11">100～300
L/10 a</td><td rowspan="2">収穫前日
まで</td><td rowspan="10">2 回以内</td><td rowspan="15">散布</td><td rowspan="10">2 回以内</td></tr>
<tr><td>さやえんどう
実えんどう</td><td>ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ
ﾖﾄｳﾑｼ
ｳﾗﾅﾐｼｼﾞﾐ</td></tr>
<tr><td>さやいんげん</td><td>ﾜﾀｱﾌﾞﾗﾑｼ
ｳﾗﾅﾐｼｼﾞﾐ
ﾏﾒﾉﾒｲｶﾞ</td><td>収穫開始
7 日前
まで</td></tr>
<tr><td>えだまめ</td><td>ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ
ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ
ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ
ｶﾒﾑｼ類
ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ
ｳｺﾝﾉﾒｲｶﾞ</td><td>収穫 14 日
前まで</td></tr>
<tr><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td><td>1000～
2000 倍</td></tr>
<tr><td>未成熟ささげ</td><td rowspan="3">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="4">1000 倍</td><td>収穫前日
まで</td></tr>
<tr><td>うど</td><td>根株養成期
ただし、
収穫 45 日
前まで</td></tr>
<tr><td>モロヘイヤ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>収穫 14 日
前まで</td><td>1 回</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="3">かんきつ</td><td>ｺｱｵﾊﾅﾑｸﾞﾘｹｼｷｽｲ類</td><td rowspan="3">200～700
L/10 a</td><td rowspan="3">収穫 14 日
前まで</td><td rowspan="3">3 回以内</td><td rowspan="3">3 回以内</td></tr>
<tr><td>ﾐｶﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ</td><td>1000～
2000 倍</td></tr>
<tr><td>ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ</td><td rowspan="2">2000 倍</td></tr>
<tr><td>小麦</td><td>ﾋﾒﾄﾋﾞｳﾝｶ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>60～150
L/10 a</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>とうもろこし</td><td>ｱﾜﾉﾒｲｶﾞ
ｱﾜﾖﾄｳ</td><td rowspan="5">1000 倍</td><td rowspan="5">100～300
L/10 a</td><td>収穫 7 日
前まで</td><td>4 回以内</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td>きび</td><td>ｱｶｽｼﾞｶｽﾐｶﾒ</td><td>収穫 14 日
前まで</td><td>3 回以内</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>ほうきぎ</td><td>ﾎｳｷｷﾞﾂﾂﾐﾉｶﾞ</td><td>収穫 30 日
前まで</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>ばれいしょ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">収穫 7 日
前まで</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="2">3 回以内</td></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td>ﾅｶｼﾞﾛｼﾀﾊﾞｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td></tr>
</table>

⑩ 20.0%エトフェンプロックス乳剤（つづき）

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
やまのいも やまのいも（むかご）	―	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾔﾏﾉｲﾓｺｶﾞ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	1000倍	100～300 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
さといも		ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ						
さといも（葉柄）					収穫7日前まで			
豆類（種実、ただし、だいず、あずきを除く）		ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ｳﾗﾅﾐｼｼﾞﾐ ｱｽﾞｷﾉﾒｲｶﾞ			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
だいず		ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ｳﾗﾅﾐｼｼﾞﾐ ｱｽﾞｷﾉﾒｲｶﾞ ｳｺﾝﾉﾒｲｶﾞ						
あずき		ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ｳﾗﾅﾐｼｼﾞﾐ ﾉﾒｲｶﾞ類						
しょうが		ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
葉しょうが					収穫14日前まで			

⑩ 20.0%エトフェンプロックス乳剤（つづき）

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
ふき	－	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ﾌｷﾉﾒｲｶﾞ ﾖﾄｳﾑｼ	1000 倍	100～300 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
せり（水耕栽培）	ｶﾞﾗｽ室等の施設	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		100～150 L/10 a	収穫 30 日前まで	2 回以内		2 回以内
せり	水田							
みずいも		ｵｷﾅﾜｲﾅｺﾞﾓﾄﾞｷ			収穫 14 日前まで	3 回以内		3 回以内
あしたば	－	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	2000 倍	100～300 L/10 a				
みつば		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000 倍	100～300 L/10 a	収穫 21 日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	2 回以内		2 回以内
てんさい		ﾖﾄｳﾑｼ	1000～2000 倍		収穫 14 日前まで	3 回以内		3 回以内
茶		ﾁｬﾉﾎｿｶﾞ ﾁｬﾉﾐﾄﾞﾘﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ	2000 倍	200～400 L/10 a	摘採 21 日前まで	2 回以内		2 回以内
マンゴー		ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ	1000 倍	200～700 L/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内		3 回以内

⑪ 10.0%エトフェンプロックス乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｲﾅｺﾞ類 ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｶﾒﾑｼ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	300 倍	25 L/10 a				
小麦	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000 倍	60～150 L/10 a		2 回以内		2 回以内

⑪ 10.0%エトフェンプロックス乳剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
やまのいも	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000倍	100～300 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
ばれいしょ				収穫7日前まで			
だいず	ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ｶﾒﾑｼ類			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
えだまめ							
さやえんどう	ｳﾗﾅﾐｼｼﾞﾐ ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ			収穫前日まで			
実えんどう							
きゅうり	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類				3回以内		3回以内
すいか	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類			収穫3日前まで			
メロン					4回以内		4回以内
トマト	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類			収穫前日まで	2回以内		2回以内
なす	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類				3回以内		3回以内
キャベツ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾖﾄｳﾑｼ ｱｵﾑｼ	1000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
はくさい				収穫7日前まで			
だいこん				収穫21日前まで			
ねぎ	ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ				2回以内		2回以内
レタス	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
てんさい	ﾖﾄｳﾑｼ						
エンサイ	ｲﾓｺｶﾞ				2回以内		2回以内
うど	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類			根株養成期ただし、収穫45日前まで			

⑫ 10.0%エトフェンプロックス乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ｲﾅｺﾞ類 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	30倍	3 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内	空中散布	3回以内
	ｲﾅｺﾞ類 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	8倍	0.8 L/10 a				

⑫ 10.0%エトフェンプロックス乳剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ｲﾅｺﾞ類	8倍	0.8 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内	無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布	3回以内
小麦	ﾋﾒﾄﾋﾞｳﾝｶ				2回以内		2回以内
だいず	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ｶﾒﾑｼ類			収穫14日前まで			
あずき	ﾌｷﾉﾒｲｶﾞ		1.6 L/10 a				
しょうが	ｱﾜﾉﾒｲｶﾞ			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
やまのいも	ﾔﾏﾉｲﾓｺｶﾞ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		3.2 L/10 a	収穫14日前まで			

⑬ 4.0%エトフェンプロックス油剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ	200～300 mL/10 a	移植後20日以降（ただし5葉期以後）収穫21日前まで	3回以内	原液を田面水に滴下又は入水時水口に滴下	3回以内
	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ第1世代	500 mL/10 a				
	ｲﾅｺﾞ類	300～500 mL/10 a				

⑭ 4.0%エトフェンプロックス油剤

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ	水溶性容器4～6個（200～300 mL）/10 a	5葉期以降収穫21日前まで	3回以内	本田に水溶性容器のまま投げ入れる	3回以内
	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ第1世代	水溶性容器10個（500 mL）/10 a				
	ｲﾅｺﾞ類	水溶性容器6～10個（300～500 mL）/10 a				

⑮ 20.0%エトフェンプロックスマイクロカプセル剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	1000～2000 倍	60～150 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ｶﾒﾑｼ類 ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ	2000 倍					
	ｲﾅｺﾞ類 ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ	1000 倍					
	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	600 倍	25 L/10 a				
ばれいしょ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7 日前まで			
だいず えだまめ	ｶﾒﾑｼ類 ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ			収穫 14 日前まで	2 回以内		2 回以内
きゅうり	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｳﾘﾉﾒｲｶﾞ			収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
なす	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類						
キャベツ	ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ ｱｵﾑｼ ﾖﾄｳﾑｼ			収穫 3 日前まで			
はくさい	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾖﾄｳﾑｼ			収穫 7 日前まで			
だいこん	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾖﾄｳﾑｼ	1000 倍	100～300 L/10 a	収穫 21 日前まで	3 回以内		3 回以内
てんさい	ﾖﾄｳﾑｼ			収穫 14 日前まで			

⑯ 20.0%エトフェンプロックスマイクロカプセル剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	60 倍	3 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	空中散布	3 回以内
	ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｲﾅｺﾞ類	16 倍	0.8 L/10 a				

⑯ 20.0%エトフェンプロックスマイクロカプセル剤（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>稲</td><td>ｶﾒﾑｼ類
ﾋﾒﾄﾋﾞｳﾝｶ</td><td rowspan="2">16 倍</td><td rowspan="4">0.8
L/10 a</td><td rowspan="5">収穫 14 日
前まで</td><td>3 回以内</td><td rowspan="5">無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ
による散布</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>小麦</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="3">2 回以内</td><td rowspan="3">2 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="3">だいず</td><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ｶﾒﾑｼ類</td><td>8～16 倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ</td><td>8 倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">16 倍</td><td rowspan="2">1.6 L/10 a</td></tr>
<tr><td>てんさい</td><td>ﾖﾄｳｶﾞ</td><td>3 回以内</td><td>3 回以内</td></tr>
</table>

⑰ 10%エトフェンプロックス・20%フサライドフロアブル

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">稲</td><td>いもち病
ｳﾝｶ類</td><td>原液</td><td>100 mL /10a</td><td rowspan="3">収穫 14 日
前まで</td><td rowspan="3">3 回以内</td><td rowspan="3">空中散布</td><td rowspan="3">3 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
ｳﾝｶ類
ｶﾒﾑｼ類
ｲﾅｺﾞ類</td><td rowspan="2">30 倍</td><td rowspan="2">3 L/10a</td></tr>
</table>

（２）海外での使用方法

① 8%エトフェンプロックス・7%ジフルベンズロン水和剤（韓国）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法
とうがらし	タバコガ	1000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布

② 10%エトフェンプロックス・1.5%インドキサカルブ水和剤（韓国）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法
とうがらし	タバコガ	2000 倍	収穫 5 日前まで	3 回以内	散布

③ 4%エトフェンプロックス乳剤又は 20%エトフェンプロックス乳剤（米国）

作物名	適用 害虫名	1 回当たりの 使用量	季節当たりの 最大使用回数	季節当たりの 最大使用濃度	使用 時期	使用 方法	備考
農作物 全般	蚊	0.00175～ 0.007 lb ai/A	25 回	0.18 Ib ai/A	収穫 当日 まで	地上散布 空中散布	1 ヶ月当たり 4 回まで、7 日間間隔

ai: active ingredient（有効成分）

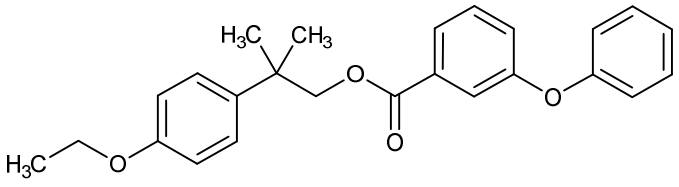
３．作物残留試験

（１）分析の概要

① 分析対象の化合物

・エトフェンプロックス

・2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンゾエート
（以下、代謝物Ⅳという。）



代謝物Ⅳ

② 分析法の概要

i）エトフェンプロックス

試料からアセトンで抽出し、ヘキサンに転溶した後、フロリジルカラムで精製する。トリメチルシリルヨードと反応させて、3-フェノキシベンジルヨードに変換した後、ヘキサンに転溶し、フロリジルカラムで精製後、ガスクロマトグラフ（ECD）又は高速液体クロマトグラフ（UV）で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、ヘキサン等に転溶後、必要に応じてヘキサン/アセトニトリル分配を行う。フロリジルカラム、エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル（PSA）・中性アルミナ連結カラム又はゲル浸透クロマトグラフィー（GPC）及びフロリジルカラムで精製し、高速液体クロマトグラフ（UV）、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）又はガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム又は多孔性ケイソウ土カラム及びフロリジルカラムで精製した後、GC-MS、高速液体クロマトグラフ（UV）、LC-MS、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

定量限界　：0.004～0.2 ppm

ii）代謝物Ⅳ

試料からアセトンで抽出し、ヘキサンに転溶した後、シリカゲルカラムで精製する。2 mol/L水酸化カリウム溶液とイソプロパノール中で加熱還流して加水分解し、3-フェノキシ安息香酸に変換する。更に2,2,2-トリクロロエタノールと無水トリフルオロ酢酸中で加熱して2,2,2-トリクロロエチル *m*-フェノキシベンゾエートに変換し、ヘキサンに転溶後、ガスクロマトグラフ（ECD）で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、ヘキサン等に転溶した後、必要に応じてヘ

キサン/アセトニトリル分配を行う。フロリジルカラムで精製し、高速液体クロマトグラフ（UV)、LC-MS 又は GC-MS で定量する。

あるいは、試料からアセトン抽出後、多孔性ケイソウ土カラムで精製し、LC-MS 又は LC-MS/MS で定量する。

代謝物Ⅳについては、換算係数 0.964 を用いてエトフェンプロックスに換算した値を示す。

定量限界　：0.01 ppm

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験結果の概要については別紙 1-2 を参照。

４．魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度[注1)]及び生物濃縮係数（BCF：Bioconcentration Factor）から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

なお、生物濃縮試験（ブルーギルにおける流水式試験）において、魚抽出物（可食部、非可食部）からは親化合物が確認されている。

（１）水産動植物被害予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場合においても使用されることから、水田 PECtier2[注2)]及び非水田PECtier1[注3)]を算出したところ、水田PECtier2は0.0058 ppb、非水田PECtier1は0.036 ppbとなったことから、非水田PECtier1の0.036 ppbを採用した。

（２）生物濃縮係数

エトフェンプロックス（高濃度区：0.001 mg/L、低濃度区：0.0002 mg/L）を用いた60日間の取込期間及び62日間の排泄期間を設定したブルーギルの魚類濃縮性試験が実施された。エトフェンプロックスの分析の結果から、BCFss[注4)]は4260（高濃度区)、3956（低濃度区）と算出された。

（３）推定残留量

(1) 及び (2) の結果から、エトフェンプロックスの水産動植物被害予測濃度：0.036 ppb、BCF：4260とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.036\ \text{ppb} \times (\ 4260 \times 5\ ) = 766.8\ \text{ppb} \fallingdotseq 0.77\ \text{ppm}$$

注1）農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定におけ

る規定に準拠

注2）水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3）既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

注4）BCFss：定常状態における被験物質の魚体中濃度と水中濃度の比で求められたBCF。

（参考）：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

５．畜産物への推定残留量

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留量を算出した。

（１）飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和 51 年農林省令第 35 号）に定める飼料一般の成分規格等と飼料の最大給与割合等から、飼料の摂取によって家畜が暴露されうる飼料中の残留農薬濃度を算出した。

成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中にエトフェンプロックスが残留している場合を仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせることにより飼料中の最大理論的飼料由来負荷（MTDB）[注)] を算出したところ、肉牛において 7.3 mg/kg、乳牛において 14 mg/kg、採卵鶏において 0.30 mg/kg、肉用鶏において 0.15 mg/kg と推定された。

また、飼料作物における作物残留試験のデータから推定される量のエトフェンプロックスが残留していると仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせることにより飼料中の平均的な残留農薬濃度（STMR dietary burden）を算出したところ、肉牛において 5.1 mg/kg、乳牛において 5.7 mg/kg、採卵鶏において 0.30 mg/kg、肉用鶏において 0.14 mg/kg と推定された。ただし、個別の作物残留試験結果が得られていない飼料作物については、MTDB と同様に、成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中に農薬が残留している場合を仮定し、算出した。

注）最大理論的飼料由来負荷（Maximum Theoretical Dietary Burden ：MTDB）：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量のこと。飼料中残留濃度として表示される。

（参考：Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs）

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛における残留試験

乳牛（ホルスタイン種、3～5 頭/群）に対して、エトフェンプロックスが 0.5、1.5 及び 50 mg/kg 含有する飼料を 28 日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれるエトフェンプロックス濃度を測定した。結果については表 1 を参照。

表 1. 乳牛の組織中の最大残留濃度（mg/kg）

組織	0.5 mg/kg　投与群	1.5 mg/kg　投与群	50 mg/kg　投与群
筋肉	<0.05（最大） <0.05（平均）	0.05（最大） 0.05（平均）	0.35（最大） 0.18（平均）
脂肪	0.54（最大） 0.38（平均）	1.89（最大） 1.23（平均）	14（最大） 9.82（平均）
肝臓	<0.05（最大） <0.05（平均）	<0.05（最大） <0.05（平均）	0.63（最大） 0.41（平均）
腎臓	<0.05（最大） <0.05（平均）	0.05（最大） 0.05（平均）	1.16（最大） 0.62（平均）
乳	<0.05（平均）	0.05（平均）	1.21（平均）

② 産卵鶏における残留試験

産卵鶏（白色レグホン種、211 日齢）に対して、エトフェンプロックスが 5、15 及び 50 mg/kg 含有する飼料を 28 日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び卵に含まれるエトフェンプロックス濃度を測定した。結果については表 2 を参照。

表 2. 産卵鶏の組織中の最大残留濃度（mg/kg）

組織	5 mg/kg　投与群	15 mg/kg　投与群	50 mg/kg　投与群
筋肉	0.02（最大） 0.02（平均）	0.04（最大） 0.03（平均）	0.06（最大） 0.05（平均）
脂肪	0.79（最大） 0.69（平均）	1.74（最大） 1.65（平均）	3.84（最大） 3.46（平均）
肝臓	0.08（最大） 0.07（平均）	0.13（最大） 0.10（平均）	0.29（最大） 0.16（平均）
卵	0.07（最大） 0.05（平均）	0.19（最大） 0.12（平均）	0.40（最大） 0.25（平均）

③ 産卵鶏における代謝試験

産卵鶏（白色レグホン種、5～8 ヶ月齢、5 匹/群）に対して、飼料中濃度 0.9 及び 9.6 mg/kg 相当のエトフェンプロックスを 14 日間にわたりカプセル投与し、筋肉、脂肪、肝臓、皮膚/脂肪及び卵黄に含まれるエトフェンプロックス濃度を測定した。結果につ

いては表 3 を参照。

表 3. 産卵鶏の組織中の最大残留濃度（mg/kg）

組織	0.9 mg/kg　投与群	9.6 mg/kg　投与群
筋肉	－	0.013
脂肪	0.188	1.675
肝臓	0.011	0.057
皮膚/脂肪	0.071	0.432
卵黄	0.073	0.709

－：分析せず

上記の結果に関連して、米国では家きんにおける最大飼料由来負荷（MRBD）[注)] を 5.0 mg/kg と評価している。

注）栄養バランスを考慮した最大飼料由来負荷（Maximum Reasonably Balanced Dietary Burden：MRBD）：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。なお、飼料については粗飼料、濃厚炭水化物飼料、濃厚タンパク質飼料を栄養学的にバランス良く給餌するシステムを採っている。

（参考：Revisions of Feedstuffs in Table 1 of OPPTS Test Guideline 860. 1000 and Guidance on Constructing Maximum Reasonably Balanced Diets (MRBD)）

（3）推定残留量

乳牛及び産卵鶏について、MTDB 又は MRBD と各試験における投与量から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果については表 4-1、表 4-2 及び表 4-3 を参照。

表 4-1. 牛の組織中の推定残留濃度（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.13 (0.061)	5.1 (2.0)	0.20 (0.081)	0.34 (0.10)	0.35 (0.15)
肉牛	0.09 (0.06)	3.4 (1.9)	0.12 (0.077)	0.18 (0.092)	
最大値	0.13 (0.061)	5.1 (2.0)	0.20 (0.081)	0.34 (0.10)	0.35 (0.15)

上段：最大残留濃度、下段：平均的な残留濃度

表 4-2. 鶏の組織中の推定残留濃度（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
肉用鶏	0.001 (0.001)	0.023 (0.020)	0.002 (0.002)	
産卵鶏	0.001 (0.001)	0.048 (0.041)	0.005 (0.004)	0.004 (0.003)
最大値	0.001 (0.001)	0.048 (0.041)	0.005 (0.004)	0.004 (0.003)

上段：最大残留濃度、下段：平均的な残留濃度

表 4-3. 鶏の組織中の推定最大残留濃度（米国から提出されたデータ）（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	皮膚/脂肪	卵黄
産卵鶏	0.007	1.04	0.06	0.395	0.40

６．ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたエトフェンプロックスに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

無毒性量：3.1 mg/kg 体重/day
(動物種)　マウス
(投与方法)　混餌
(試験の種類)　発がん性試験
(期間)　2年間
安全係数：100
ADI：0.031 mg/kg 体重/day

発がん性試験において、ラットの雌で甲状腺ろ胞細胞腺腫が認められたが、遺伝毒性試験が全て陰性であったこと及びメカニズム試験の結果から、腫瘍の発生機序は遺伝毒性メカニズムとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

（２）ARfD

無毒性量：100 mg/kg 体重/day
(動物種)　ウサギ
(投与方法)　強制経口
(試験の種類)　発生毒性試験

安全係数：100
ARfD：1 mg/kg 体重

7．諸外国における状況

2011 年に JMPR における毒性評価が行われ、ADI 及び ARfD が設定されている。国際基準はりんご、なし等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国において米、乳等に、EU においてりんご、ぶどう等に基準値が設定されている。

8．基準値案

（1）残留の規制対象

エトフェンプロックスとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてエトフェンプロックス（親化合物のみ）を設定している。

（2）基準値案

別紙 2 のとおりである。

（3）暴露評価

① 長期暴露評価

1 日当たり摂取する農薬等の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 3 参照。

	EDI／ADI（%）[注)]
一般（1 歳以上）	35.5
幼小児（1～6 歳）	74.3
妊婦	31.3
高齢者（65 歳以上）	40.7

注）各食品の平均摂取量は、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特集計業務報告書による。
TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量
EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を推定したところ、一般（1 歳以上）及び幼小児（1～6 歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量(ARfD)を超えていない[注)]。詳細な暴露評価は別紙 4-1 及び 4-2 参照。

注）基準値案を用い、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成 22 年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTI を推定した。

エトフェンプロックス 作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）[注1)] 【エトフェンプロックス/代謝物IV】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稲 (玄米)	2	20%水和剤+ 1.5%粒剤+ 20%乳剤	*150*倍育苗箱散布0.5 L/箱 *水面施用4 kg/10 a* 1000倍散布*200* L/*10* a	*3+1+1*	7, 14, 21, 27	圃場A:*0.13/**0.01(*5回, 21日、**5回, 27日) (#)[注2)]
					7, 14, 21, 27	圃場B:*0.13/*<0.01(*5回, 21日) (#)
	2	20%水和剤+ 1.5%粒剤	*100倍育苗箱散布0.7 L/箱* *散布6 kg/10 a*	*1+1*	114	圃場A:<0.01/<0.01 (#)
					98	圃場B:<0.01/<0.01 (#)
	2	1.5%粒剤	散布4 kg/10 a	*5*	21	圃場A:0.01/<0.01 (#)
						圃場B:<0.01/<0.01 (#)
	2	0.5%粉剤	散布4 kg/10 a	*5*	14, 21, 27	圃場A:*<0.01/*<0.01(*5回, 14日) (#)
					14, 19, 26	圃場B:*0.01/*0.02(*5回, 14日) (#)
	2			3	7, 14	圃場A:<0.01/-
						圃場B:<0.01/-
	2	4.0%油剤	原液水面滴下0.5 L/10 a	3	43	圃場A:<0.01/-
					42	圃場B:<0.01/-
	2		原液水面滴下*0.75* L/10 a		21	圃場A:<0.01/- (#)
						圃場B:<0.01/- (#)
	2	20%乳剤	2000倍散布 *200* L/10 a	*5*	14, 21, 28	圃場A:0.30/<0.01 (#)
						圃場B:0.02/<0.01 (#)
	2		1000倍散布 *200* L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.10/- (#)
						圃場B:0.06/- (#)
	2		1000倍散布 144, 142 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:0.06/<0.01
						圃場B:*0.14/<0.01(*3回, 21日)
	2		*200*倍ﾌﾞｰﾑｽﾌﾟﾚｰﾔｰ散布 25 L/10 a		21	圃場A:0.046/- (#)
						圃場B:0.015/- (#)
	2		1000倍散布 125 L/10 a		21	圃場A:0.065/-
						圃場B:0.022/-
	2		300倍ﾌﾞｰﾑｽﾌﾟﾚｰﾔｰ散布 25 L/10 a		14, 21, 28	圃場A:0.05/-
						圃場B:*0.12/-(*3回, 21日)
	2	10%乳剤	1000倍散布 *200* L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.106/0.01 (#)
						圃場B:*0.064/*0.01(*3回, 21日) (#)
	2		*200*倍ﾌﾞｰﾑｽﾌﾟﾚｰﾔｰ散布 25 L/10 a		21	圃場A:0.022/- (#)
						圃場B:0.020/- (#)
	2		8倍無人ﾍﾘ散布 *8* L/h a		21	圃場A:0.010/- (#)
					23	圃場B:0.015/- (#)
	2		8倍無人ﾍﾘ散布 0.8 L/10 a		14, 21, 28	圃場A:0.02/-
						圃場B:*0.01/-(*3回, 21日)
	2	10%水和剤	原液空中散布0.1 L/10 a	1	37	圃場A:<0.01/-
						圃場B:<0.01/-
	2		1000倍散布 100 L/10 a		37	圃場A:<0.01/- (#)
						圃場B:<0.01/- (#)
	2		1000倍散布 150 L/10 a	4	21, 28	圃場A:0.070/-(4回, 21日)
						圃場B:0.023/-(4回, 21日)
	2			3	14, 21, 28	圃場A:0.023/-
						圃場B:0.03/-
	2	6.2%水和剤	620倍散布 150, 146 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:*0.09/0.01(*3回, 21日)
						圃場B:0.08/<0.01
	2		120倍ﾌﾞｰﾑｽﾌﾟﾚｰﾔｰ散布 25 L/10 a	*3*	21	圃場A:0.016/-
						圃場B:0.009/-
	2		600倍散布 125 L/10 a	3	21	圃場A:0.011/-
						圃場B:0.016/-
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 150 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.067/0.02
						圃場B:0.06/0.02
	2		16倍空中散布 0.78, 0.8 L/10 a	1	22	圃場A:<0.01/- (#)
					27	圃場B:<0.01/- (#)
	2		2000倍散布 100 L/10 a		22	圃場A:0.010/- (#)
					27	圃場B:0.018/- (#)
	2				27	圃場A:<0.01/- (#)
					28	圃場B:<0.01/- (#)
	2		16倍無人ﾍﾘ散布 0.8 L/10 a		27	圃場A:<0.01/- (#)
					28	圃場B:<0.01/- (#)

エトフェンプロックス 作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）[注1)] 【エトフェンプロックス/代謝物IV】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稲 （玄米）	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	*300*倍ﾌﾞｰﾑｽﾌﾟﾚｰﾔｰ散布 25 L/10 a	3	21	圃場A:0.01/-（#）
						圃場B:<0.01/-（#）
	2		1500倍散布 125 L/10 a		21	圃場A:0.02/-
						圃場B:0.04/-
	2		16倍無人ﾍﾘ散布 0.8 L/10 a		14, 21	圃場A:0.02/-
						圃場B:0.02/-
	2	6.2%水和剤+ 0.5%粉剤	620倍散布150 L/10 a 散布4 kg/10 a	2+1	7, 14, 21	圃場A:0.04/<0.01
						圃場B:*0.02/<0.01(*3回, 21日)
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤 +0.5%粉剤	1000倍散布150 L/10 a 散布4 kg/10 a			圃場A:0.04/<0.01
						圃場B:0.04/<0.01
	2	20%乳剤+ 0.5%粉剤				圃場A:0.06/<0.01
						圃場B:*0.04/*<0.01(*3回, 21日)
	2	10%乳剤+ 0.5%粉剤	8倍無人ﾍﾘ散布0.8 L/10 a 散布4 kg/10 a			圃場A:0.01/<0.01
						圃場B:0.01/<0.01
小麦 （玄麦）	2	20%乳剤	2000倍散布 *200* L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A:0.022/-（#）
					13, 21, 29	圃場B:0.160/-(2回, 13日)（#）
	2		2000倍散布 100 L/10 a		*7*	圃場A:0.260/-（#）
						圃場B:0.37/-（#）
	2		2000倍散布 150, 120 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:0.14/0.01
						圃場B:0.04/0.02
	2	10%乳剤	8倍無人ﾍﾘ散布 0.8 L/10 a		*7*	圃場A:0.086/-（#）
						圃場B:0.101/-（#）
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	16倍無人ﾍﾘ散布 0.8 L/10 a		14, 21, 30	圃場A:0.03/-
					14, 21, 28	圃場B:*0.01/-(*2回, 21日)
	2				7, 14, 21	圃場A:0.02/<0.01
						圃場B:0.02/<0.01
とうもろこし （未成熟雌穂）	2	20%乳剤	1000倍散布 250 L/10 a	4	7, 14	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:0.06/<0.01
とうもろこし （乾燥種実）	2	20%乳剤	1000倍散布 250 L/10 a	4	7, 14	圃場A:*0.04/*0.04(*4回, 14日)
						圃場B:<0.01/<0.01
きび （種子）	2	20%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:1.38/-
						圃場B:0.47/-
	2				14, 21, 28	圃場A:0.13/0.04
						圃場B:0.23/0.02
だいず （乾燥子実）	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	2	14	圃場A:0.01/<0.01
					13	圃場B:<0.01/<0.01
	2	10%乳剤	*4倍無人ﾍﾘ散布* *0.97～1.04,* *0.82～0.83 L/10 a*		14	圃場A:<0.01/-（#）
					15	圃場B:0.034/-（#）
	2		8倍無人ﾍﾘ散布 0.8 L/10 a		14	圃場A：<0.004/<0.01
						圃場B：<0.004/<0.01
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 150 L/10 a		14	圃場A：0.006/<0.01
						圃場B：0.060/0.01
	2				14	圃場A:0.014/-
					13	圃場B:0.04/-
	2		1000倍散布 200 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:0.02/-
						圃場B:<0.01/-
	1		1000倍散布 150 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:0.012/-
	1	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:0.014/-
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	8倍無人ﾍﾘ散布 0.8 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:<0.02/-
						圃場B:<0.02/-
	2	10%水和剤	1000倍散布 150, 200 L/10 a		13, 20, 27	圃場A:*<0.01/-(*2回, 27日)
					14, 21, 28	圃場B:*<0.01/-(*2回, 28日)
	2		8倍無人ﾍﾘ散布 0.8 L/10 a		13, 20, 27	圃場A:*<0.01/-(*2回, 27日)
					14, 21, 28	圃場B:*<0.01/-(*2回, 28日)
	2		1000倍散布 200, 178 L/10 a		14, 21, 28	圃場A:*<0.01/<0.01(*2回, 28日)
						圃場B:*<0.01/<0.01(*2回, 28日)

エトフェンプロックス 作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1) 【エトフェンプロックス/代謝物IV】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
あずき (乾燥子実)	1	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	*3*	14	圃場A:0.010/0.01(#)
				5		圃場A:<0.01/<0.01(#)
あずき (乾燥子実)	2	20%乳剤	1000倍散布 *90*,100 L/10 a	*1*	7,14	圃場A:0.004/- (#)
						圃場B:0.004/- (#)
	2	10%乳剤	8倍無人ﾍﾘ散布 *2.0,1.9* L/10 a			圃場A:0.004/- (#)
						圃場B:0.004/- (#)
らっかせい (乾燥子実)	2	20%乳剤	1000倍散布 200,156 L/10 a	*3*	7,14,21	圃場A:<0.01/- (#)
						圃場B:<0.01/- (#)
	2		1000倍散布 177,183 L/10 a	2	14	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01
ばれいしょ (塊茎)	2	20%乳剤	1000倍散布 150,300 L/10 a	3	3,7,14	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 200,300 L/10 a		7,14,21	圃場A:<0.01/-
						圃場B:<0.01/-
	2		1000倍散布 180,175 L/10 a		7	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01
さといも (球茎)	2	20%乳剤	1000倍散布 250 L/10 a	3	7,14	圃場A:<0.005/<0.01
						圃場B:<0.005/<0.01
みずいも (塊茎)	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	3	14,21,28	圃場A:<0.005/-
						圃場B:0.007/-
	2		1000倍散布 100 L/10 a		14	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01
かんしょ (塊根)	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	3	7,14,21	圃場A:<0.01/-
						圃場B:<0.01/-
	2		1000倍散布 188,175 L/10 a		7	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01
やまのいも (塊茎)	2	20%乳剤	1000倍散布 *350*,250 L/10 a	3	7,14	圃場A:<0.005/<0.01 (#)
						圃場B:<0.005/<0.01
	2		1000倍散布 *350 L/10 a*	*1*	7,13,22	圃場A:*<0.005/*<0.01(*1回,13日) (#)
					7,14,21	圃場B:<0.005/<0.01 (#)
	2	10%乳剤	8倍無人ﾍﾘ散布 3.2 L/10 a		7,13,22	圃場A:*<0.005/*<0.01(*1回,13日) (#)
					7,14,21	圃場B:<0.005/<0.01 (#)
ながいも (塊茎)	1	0.5%粉剤	4 kg/10 a散布	*2*	23	圃場A:<0.03/- (#)
てんさい (根部)	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	3	14,21,28	圃場A:0.01/<0.01
						圃場B:0.10/<0.01
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 150,200 L/10 a		7,14,21	圃場A:*0.08/-(*3回,21日)
						圃場B:*0.06/-(*3回,21日)
	2		*8倍無人ﾍﾘ散布* 1.6 L/10 a			圃場A:0.051/- (#)
						圃場B:*0.01/-(*3回,21日) (#)
	2		1000倍散布 200 L/10 a		14	圃場A:0.04/<0.01
						圃場B:0.08/0.01
さとうきび (茎)	2	1.5%粒剤	*植付前植溝処理9 kg/10 a* *+ 散布9 kg/10 a*	*1+2*	45	圃場A:0.005/<0.01 (#)
						圃場B:0.007/<0.01 (#)
だいこん (根部)	1	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	3	7,14,21	圃場A:<0.01/<0.01
	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a		15,21,30	圃場A:0.01/0.02
					13,23,28	圃場B:*<0.01/*<0.01(*3回,23日)
	2				14,21,30	圃場A:*0.01/-(*3回,30日)
						圃場B:0.03/-
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 176～180,150 L/10 a		7,14,21	圃場A:<0.01/-
					7,14,20	圃場B:0.02/-(3回,20日)
	2		1000倍散布 200,167 L/10 a		7,14,21	圃場A:0.06/0.01
						圃場B:0.05/0.02

エトフェンプロックス 作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）[注1)] 【エトフェンプロックス/代謝物Ⅳ】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
だいこん （葉部）	1	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.54/0.14
	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a		15, 21, 30	圃場A:0.07/<0.01
					13, 23, 28	圃場B:*0.03/*<0.01(*3回, 23日)
	2				14, 21, 30	圃場A:0.042/-
						圃場B:1.12/-
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 176～180, 150 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:3.14/-
					7, 14, 20	圃場B:0.84/-(3回, 20日)
	2		1000倍散布 200, 167 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:1.56/0.20
						圃場B:1.00/0.24
はくさい （茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 200, *300～400* L/10 a	3	7, 14, 22	圃場A:0.12/<0.01
					7, 14, 21	圃場B:0.18/0.01 (#)
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 300 L/10 a		3, 7, 14	圃場A:2.32/-
						圃場B:2.02/-
	2		1000倍散布 250 L/10 a			圃場A:1.79/*0.16(*3回, 14日)
						圃場B:*2.88/0.27(*3回, 14日)
ブロッコリー （花蕾）	2	20%乳剤	1000倍散布 299, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.16/*<0.04(*3回, 3日)
						圃場B:*3.44/*0.07(*3回, 3日)
キャベツ （葉球）	2	20%乳剤	1000倍散布 200, 250 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:0.31/<0.01
						圃場B:0.20/<0.01
	2		1000倍散布 200 L/10 a			圃場A:0.019/-
						圃場B:0.394/-
	2	10%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a			圃場A:0.024/-
						圃場B:0.192/-
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 150～200, 208 L/10 a			圃場A:0.08/-
						圃場B:0.26/-(3回, 7日)
	2		1000倍散布 300, 250 L/10 a			圃場A:0.34/0.02
						圃場B:0.12/<0.01
畑わさび （根及び根茎）	2	1.5%粒剤	植付時植溝土壌混和 3 kg/10 a + 散布3 kg/10 a	1+1	7, 14, 21	圃場A:<0.2/-
						圃場B:0.5/-
	2					圃場A:0.08/<0.01
						圃場B:0.34/<0.01
レタス （茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.75/-
						圃場B:0.05/-
	2		1000倍散布 300, 222, 247, 185 L/10 a			圃場A:1.20/0.10
						圃場B:0.50/0.03
レタス （茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 293, 200, 300, 250 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.06/<0.01
						圃場B:0.05/<0.01
ふき （茎）	2	20%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14	圃場A:0.56/0.01
						圃場B:0.51/0.01
葉ねぎ （茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.30/-
						圃場B:1.00/-
	2					圃場A:0.062/0.02
						圃場B:0.028/0.03
ねぎ （茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.437/-
						圃場B:0.179/0.15
みつば （茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 300, 150 L/10 a	2	14, 21, 28, 35	圃場A:2.4/-
					20, 28, 35	圃場B:*1.6/-(*2回, 20日)
	2		1000倍散布 100, 150 L/10 a		14, 21, 30	圃場A:1.27/0.020
						圃場B:2.54/0.067
せり （茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 300, 150 L/10 a	2	14, 21, 28, 35	圃場A:*0.3/-(*2回, 28日)
					21, 28, 35	圃場B:*0.7/-(*2回, 28日)
	2		1000倍散布 100, 100・150 L/10 a		14, 21, 28	圃場A:*0.02/*<0.01(*2回, 28日)
					21, 28, 35	圃場B:*0.21/*<0.01(*2回, 28日)
あしたば （茎葉）	2	20%乳剤	2000倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:<0.20/-
						圃場B:<0.20/-
	2		2000倍散布 227, 222 L/10 a			圃場A:0.01/<0.01
						圃場B:0.01/<0.01
トマト （果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 300, 250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:*0.609/*0.02(*2回, 3日)
						圃場B:*0.264/0.01 (*2回, 3日)

エトフェンプロックス 作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）[注1)] 【エトフェンプロックス/代謝物Ⅳ】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ピーマン （果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 200, 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.71/-
						圃場B:2.66/-
	2		1000倍散布 200, 250 L/10 a			圃場A:*1.40/**0.05(*3回, 3日、 **3回, 7日)
						圃場B:2.77/0.06
なす （果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.64/<0.01
						圃場B:0.16/<0.01
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 183, 300 L/10 a			圃場A:0.258/-
						圃場B:0.305/-
	2		1000倍散布 297, 292 L/10 a			圃場A:0.32/<0.01
						圃場B:*0.32/<0.01(*3回, 3日)
きゅうり （果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 250 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.13/0.02
						圃場B:0.18/<0.01
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 300, 220～252 L/10 a			圃場A:0.162/-
						圃場B:0.54/-
	2		1000倍散布 200, 286 L/10 a			圃場A:0.24/<0.01
						圃場B:0.18/<0.01
かぼちゃ （果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.49/<0.01
					1, 4, 7	圃場B:0.126/<0.01
すいか （果肉）	2	20%乳剤	1000倍散布 95～200, 200 L/10 a	3	3, 7	圃場A:<0.01/-
						圃場B:<0.01/-
	2		1000倍散布 204～280, 280 L/10 a		3, 7, 14	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01
メロン （果肉）	2	20%乳剤	1000倍散布 *400* L/10 a	4	3, 7	圃場A:0.039/-(4回, 7日) (#)
						圃場B:0.021/- (#)
	2		1000倍散布 279, 283, 300 L/10 a		3, 7, 14	圃場A:*0.03/<0.01 (*4回, 14日)
						圃場B:*0.04/<0.01(*4回, 7日)
にがうり （果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 100～200, 202 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.56/-
						圃場B:0.20/-
	2		1000倍散布 228, 256 L/10 a		1, 3, 7	圃場A:0.23/<0.01
						圃場B:0.14/<0.01
オクラ （果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.10/0.10
						圃場B:0.16/0.10
しょうが （根茎）	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	3	7, 14	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:0.054/0.01
	2		1000倍散布 200 L/10 a	*1*		圃場A:0.007/<0.01 (#)
						圃場B:0.007/<0.01 (#)
	2	10%乳剤	8倍無人ﾍﾘ散布 1.6 L/10 a			圃場A:<0.005/<0.01 (#)
						圃場B:<0.005/<0.01 (#)
葉しょうが (塊茎及び茎)	2	20%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.12/-
						圃場B:0.13/-
	2		1000倍散布 187, 180 L/10 a			圃場A:0.74/0.06
						圃場B:0.14/0.04
さやえんどう （さや）	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A:0.40/<0.01
						圃場B:1.05/0.02
さやえんどう （さや）	3	20%乳剤	1000倍散布 190, 200, 189 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.53/*0.03(*2回, 3日)
						圃場B:0.79/0.02
						圃場C:1.14/*0.03(*2回, 3日)
さやいんげん （さや）	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.860/0.12
						圃場B:0.218/0.01
えだまめ （果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:1.08/0.04
						圃場B:1.02/0.03
	2	20%ﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤	1000倍散布 150 L/10 a		14, 21, 28	圃場A:0.720/-(2回, 21日)
						圃場B:1.150/-
	2		1000倍散布 150, 153～196 L/10 a			圃場A:0.67/0.02
						圃場B:1.09/0.12
れんこん （根茎）	2	1.5%粒剤	*4 kg/10 a散布*	3	14, 21, 28	圃場A:<0.01/<0.01(#)
					14, 21	圃場B:0.010<0.01(#)
	2	0.5%粉剤	4 kg/10 a散布		14, 21, 28	圃場A:<0.01/<0.01
					14, 21	圃場B:<0.01/<0.01

エトフェンプロックス 作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）[注1)] 【エトフェンプロックス/代謝物Ⅳ】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
エンサイ（茎葉）	2	10%乳剤	1000倍散布 250 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.32/-
						圃場B:0.64/-
	2		1000倍散布 260 L/10 a			圃場A:0.99/<0.01
						圃場B:1.56/<0.01
やまのいも（むかご）	2	20%乳剤	1000倍散布 300 L/10 a	3	14, 21, 30	圃場A:2.40/-
						圃場B:1.58/-
	2		1000倍散布 200 L/10 a		14, 21, 28	圃場A:0.72/0.20
						圃場B:0.35/0.17
未成熟ささげ（さや）	2	20%乳剤	1000倍散布 250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:2.8/-
						圃場B:1.9/-
	2		1000倍散布 200, 178 L/10 a			圃場A:2.58/0.01
						圃場B:2.44/0.01
モロヘイヤ（茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 220, 204 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A:0.65/-
						圃場B:0.16/-
	2		1000倍散布 190, 180 L/10 a			圃場A:0.02/0.01
						圃場B:0.10/0.04
さといも葉柄（葉柄）	2	20%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.3/-
						圃場B:0.2/-
	2		1000倍散布 300, 200 L/10 a			圃場A:0.54/0.06
						圃場B:0.41/0.02
うど（軟化茎葉）	2	20%乳剤	1000倍散布 300 L/10 a	2	195, 202	圃場A:<0.02/-(2回, 195日)
					199, 206	圃場B:<0.02/-(2回, 199日)
	2		1000倍散布 200 L/10 a		42	圃場A:<0.01/-
						圃場B:<0.01/-
	2				45	圃場A:<0.01/<0.01
					43	圃場B:<0.01/<0.01
	2	10%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a		42	圃場A:<0.01/-
						圃場B:<0.01/-
ほうきぎ（果実全体）	2	20%乳剤	1000倍散布 300 L/10 a	2	14, 28, 35	圃場A:5.44/-(2回, 28日)
					14, 28, 35	圃場B:4.39/-(2回, 28日)
	2		1000倍散布 200, 250, 160-200 L/10 a		28, 35, 42	圃場A:*1.76/*0.10(*2回, 28日)
					27, 35, 42	圃場B:*0.84/*0.05(*2回, 27日)
温州みかん（果肉）	2	20%乳剤	1000倍散布 500, *800* L/10 a	3	14, 20, 28	圃場A:0.03/<0.01
					14, 21, 28	圃場B:*0.02/<0.01(*3回, 21日) (#)
温州みかん（果皮）	2	20%乳剤	1000倍散布 500, *800* L/10 a	3	14, 20, 28	圃場A:6.90/0.52
					14, 21, 28	圃場B:11.4/0.69 (#)
なつみかん（果実全体）	2	20%乳剤	1000倍散布 600, 500 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:*1.06/*0.29(*3回, 28日)
						圃場B:*1.01/0.29(*3回, 21日)
すだち（果実）	1	20%乳剤	1000倍散布 500 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:2.70/-
					15, 21, 28	圃場A:*1.90/*0.02(*3回, 15日)
かぼす（果実）	1	20%乳剤	1000倍散布 640 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.98/-
			1000倍散布 615 L/10 a			圃場A:*2.89/0.04(*3回, 21日)
りんご（果実）	2	20%水和剤	1000倍散布 600, 500 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.39/0.25
						圃場B:0.80/*0.22(*3回, 21日)
なし（果実）	2	20%水和剤	1000倍散布 400, 500 L/10 a	3	14, 21, 27, 41	圃場A:0.72/0.20
					14, 21, 28, 42	圃場B:0.62/0.14
もも（果肉）	2	20%水和剤	1000倍散布 400 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.02/*0.02(*3回, 21日)
						圃場B:*0.02/0.01(*3回, 21日)
もも（果皮）	2	20%水和剤	1000倍散布 400 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:*7.22/1.17(*3回, 21日)
						圃場B:7.44/0.75
かき（果実）	2	20%水和剤	1000倍散布 500 L/10 a	3	21, 28, 42	圃場A:*0.72/*0.10(*3回, 28日)
					20, 27, 42	圃場B:*0.85/*0.12(*3回, 27日)
マンゴー（果実）	2	20%乳剤	1000倍散布 400, 300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:2.00/-
						圃場B:1.51/-
	2		1000倍散布 360, 500 L/10 a			圃場A:0.65/<0.01
						圃場B:2.24/0.08

（別紙1-1）

エトフェンプロックス 作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）[注1)] 【エトフェンプロックス/代謝物IV】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
くり （果実）	2	*20%乳剤*	1000倍散布 500,400 L/10 a	*4*	8,14,20	圃場A:*<0.01/*<0.01(*4回,8日)（#）
					8,14,22	圃場B:*<0.01/*<0.01(*4回,8日)（#）
茶（覆下） （荒茶）	2	20%乳剤	*1000*倍散布 200 L/10 a	2	21	圃場A:1.62/0.12（#）
						圃場B:3.98/0.16（#）
茶（覆下） （浸出液）	2	20%乳剤	*1000*倍散布 200 L/10 a	2	21	圃場A:<0.02/-（#）
						圃場B:0.02/-（#）
畑わさび （花及び花茎）	2	1.5%粒剤	植付時植溝土壌混和 3 kg/10 a + 散布3 kg/10 a	1+1	7,14,21	圃場A:0.2/-
						圃場B:<0.1/-
	2					圃場A:0.15/0.04
						圃場B:0.09/0.04
畑わさび （葉(葉柄含)）	2	1.5%粒剤	植付時植溝土壌混和 3 kg/10 a + 散布3 kg/10 a	1+1	7,14,21	圃場A:0.2/-
						圃場B:0.2/-
	2					圃場A:0.18/0.07
						圃場B:0.34/0.10

注1）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）
　表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注2）（#）印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3）今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

エトフェンプロックス 作物残留試験一覧表（韓国）

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）[注1)]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
とうがらし（施設）（実）	1	10%水和剤	*1000倍* 散布 200 L/10a	3	1,3,5,7	圃場A:0.79（#）[注2)]
	1	8%水和剤	1000倍散布 250 L/10a	2	1,3,5,7	圃場A:1.04
	1	8%水和剤	1000倍散布 250 L/10a	*3*	1,3,5,7	圃場A:1.33（#）

注1）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）
表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

注2）（#）印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

農薬名　エトフェンプロックス

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
米（玄米をいう。）	0.5	0.5	○			0.06, 0.14($), 0.10(#), 0.06(#)
小麦	0.5	0.5	○			0.04, 0.14($)
大麦	0.5	0.5				
ライ麦	0.5	0.5				
とうもろこし	0.3	0.5	○	0.05		<0.01, 0.06($)
その他の穀類	3		申			1.38($), 0.47, 0.13, 0.23（きび）
大豆	0.2	0.2	○	0.05		<0.01-0.060($)(n=7)(大豆)
小豆類	0.2	0.2	○	0.05		
えんどう	0.05	0.05	○			(らっかせい参照)
そら豆	0.05	0.05	○	0.05		(らっかせい参照)
らっかせい	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
その他の豆類	0.05	0.05	○	0.05		(らっかせい参照)
ばれいしょ	0.05	0.1	○			<0.01, <0.01
さといも類（やつがしらを含む。）	0.1	0.1	○			
かんしょ	0.03	0.1	○			<0.01(n=4)
やまいも（長いもをいう。）	0.1	0.1	○			<0.005(#), <0.005(#)(やまのいも)/ <0.03(ながいも)(#)
てんさい	0.3	0.5	○			0.08($), 0.06, 0.04, 0.08
さとうきび	0.03	0.1	○			0.005, 0.007
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	2	2	○			
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10	10	○			
かぶ類の根	2	2				
かぶ類の葉	10	10				
はくさい	5	5	○			2.32, 2.02, 1.79, 2.88
キャベツ	2	2	○			
芽キャベツ	2	2				
ブロッコリー	10		申			1.16, 3.44($)
その他のあぶらな科野菜	1	1	○			<0.2, 0.5($), 0.08, 0.34 (畑わさび(根及び根茎))
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2	2	○			0.05-1.20($)(n=6)
その他のきく科野菜	2	2	○			0.56, 0.51(ふき)
ねぎ（リーキを含む。）	2	2	○			0.30, 1.00($), 0.062, 0.028 (葉ねぎ)
わけぎ	2	2				
みつば	5	5	○			2.4, 1.6, 1.27, 2.54
その他のせり科野菜	2	2	○			0.3, 0.7($), 0.02, 0.21(せり)
トマト	2	2	○			0.609($), 0.264
ピーマン	5	5	○			1.71, 2.66, 1.40, 2.77
なす	2	2	○			0.64($), 0.16
その他のなす科野菜	2	2				【0.79-1.33(#)(n=3)(とうがらし)(韓国)】
きゅうり（ガーキンを含む。）	1	2	○			0.162, 0.54($), 0.24, 0.18
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	1	1	○			0.49, 0.126
すいか	2	2	○			
メロン類果実	2	2	○			
まくわうり	2	2				
その他のうり科野菜	1	1	○			0.56($), 0.20, 0.23, 0.14 (にがうり)
オクラ	3	3	○			1.10($),0.16
しょうが	2	2	○			0.12, 0.13, 0.74($), 0.14 (葉しょうが)
未成熟えんどう	2	2	○			0.40-1.14(n=5)
未成熟いんげん	2	2	○			0.860, 0.218

農薬名　エトフェンプロックス

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
えだまめ	3	5	○				1.08, 1.02
その他の野菜	10	5	申・○				5.44($), 4.39, 1.76, 0.84 (ほうきぎ)
みかん	2	2	○				
なつみかんの果実全体	3	3	○				1.06, 1.01
レモン	5	5	○				(すだち参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	5	5	○				(すだち参照)
グレープフルーツ	5	5	○				(すだち参照)
ライム	5	5	○				(すだち参照)
その他のかんきつ類果実	5	5	○				2.7, 1.90(すだち)
りんご	2	2	○	0.6			0.39, 0.80
日本なし	2	2	○	0.6			0.72, 0.62
西洋なし	2	2	○	0.6			(日本なし参照)
もも	2	2	○				
ネクタリン	0.6	0.6		0.6			
ぶどう	4	4		4			
かき	2	2	○				0.72, 0.85
マンゴー	5	5	○				2.00, 1.51, 0.65, 2.24($)
なたね	0.01	0.01		0.01			
くり	2	2	○				
茶	10	10	○				1.62, 3.98($)(荒茶)
その他のスパイス	20	20	○				6.90, 11.40($) (みかんの果皮)
その他のハーブ	0.7	0.7	○				0.2, 0.2, 0.18, 0.34($) (畑わさび(葉))
牛の筋肉	0.5	0.5					推:0.13
豚の筋肉	0.5	0.5					(牛の筋肉参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.5	0.5					(牛の筋肉参照)
牛の脂肪	7	7		0.5			推:5.1
豚の脂肪	7	7		0.5			(牛の脂肪参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	7	7		0.5			(牛の脂肪参照)
牛の肝臓	0.5	0.5		0.05			推:0.20
豚の肝臓	0.5	0.5		0.05			(牛の肝臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.5	0.5		0.05			(牛の肝臓参照)
牛の腎臓	0.5	0.5		0.05			推:0.34
豚の腎臓	0.5	0.5		0.05			(牛の腎臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.5	0.5		0.05			(牛の腎臓参照)
牛の食用部分	0.5	0.5		0.05			(牛の肝臓、腎臓参照)
豚の食用部分	0.5	0.5		0.05			(牛の肝臓、腎臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.5	0.5		0.05			(牛の肝臓、腎臓参照)
乳	0.5	0.5		0.02			推:0.35
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01	0.01	米国	推: 0.007
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01		0.01	0.01	米国	(鶏の筋肉参照)
鶏の脂肪	1	0.5			1.0	米国	推:1.04
その他の家きんの脂肪	1	0.5			1.0	米国	(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.06	0.02		0.01			推:0.06
その他の家きんの肝臓	0.06	0.02		0.01			(鶏の肝臓参照)

農薬名　エトフェンプロックス

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
鶏の腎臓	0.06	0.02		0.01			(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの腎臓	0.06	0.02		0.01			(鶏の肝臓参照)
鶏の食用部分	0.06	0.02		0.01			(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの食用部分	0.06	0.02		0.01			(鶏の肝臓参照)
鶏の卵	0.4	0.1		0.01	0.40	米国	推:0.40(卵黄)
その他の家きんの卵	0.4	0.1		0.01	0.40	米国	(鶏の卵参照)
魚介類	0.8	0.8					推:0.77
干しぶどう	8	8		8			

申請(国内における登録、承認等の申請、ｲﾝﾎﾟｰﾄﾄﾚﾗﾝｽ申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内において農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
($)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。
「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

エトフェンプロックス推定摂取量 （単位：μg／人／day）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	一般（1歳以上）TMDI	一般（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）TMDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）TMDI	高齢者（65歳以上）EDI
米（玄米をいう。）	0.5	0.09	82.1	14.8	42.9	7.7	52.7	9.5	90.1	16.2
小麦	0.5	0.09	29.9	5.4	22.2	4.0	34.5	6.2	25.0	4.5
大麦	0.5 ●	0.5	2.7	2.7	2.2	2.2	4.4	4.4	2.2	2.2
ライ麦	0.5 ●	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1	0.1
とうもろこし	0.3	0.035	1.4	0.2	1.6	0.2	1.8	0.2	1.3	0.2
その他の穀類	3	0.55	0.6	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.9	0.2
大豆	0.2	0.023	7.8	0.9	4.1	0.5	6.3	0.7	9.2	1.1
小豆類	0.2 ●	0.2	0.5	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.8	0.8
えんどう	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他の豆類	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.01	1.9	0.4	1.7	0.3	2.1	0.4	1.8	0.4
さといも類（やつがしらを含む。）	0.1 ●	0.1	0.5	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.8	0.8
かんしょ	0.03	0.01	0.2	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1
やまいも（長いもをいう。）	0.1	0.005	0.3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.4	0.0
てんさい	0.3	0.065	9.8	2.1	8.3	1.8	12.3	2.7	10.0	2.2
さとうきび	0.03	0.006	2.9	0.6	2.5	0.5	3.7	0.7	3.0	0.6
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	2 ●	2	66.0	66.0	22.8	22.8	41.2	41.2	91.4	91.4
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10 ●	10	17.0	17.0	6.0	6.0	31.0	31.0	28.0	28.0
かぶ類の根	2 ●	2	5.6	5.6	1.6	1.6	0.2	0.2	10.0	10.0
かぶ類の葉	10 ●	10	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	6.0
はくさい	5	2.3	88.5	39.8	25.5	11.5	83.0	37.4	108.0	48.6
キャベツ	2 ●	2	48.2	48.2	23.2	23.2	38.0	38.0	47.6	47.6
芽キャベツ	2 ●	2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
ブロッコリー	10	2.3	52.0	12.0	33.0	7.6	55.0	12.7	57.0	13.1
その他のあぶらな科野菜	1	0.28	3.4	1.0	0.6	0.2	0.8	0.2	4.8	1.3
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2	0.44	19.2	4.2	8.8	1.9	22.8	5.0	18.4	4.0
その他のきく科野菜	2	0.54	3.0	0.8	0.2	0.1	1.2	0.3	5.2	1.4
ねぎ（リーキを含む。）	2	0.35	18.8	3.3	7.4	1.3	13.6	2.4	21.4	3.7
わけぎ	2 ●	2	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4
みつば	5	2.0	2.0	0.8	0.5	0.2	0.5	0.2	2.5	1.0
その他のせり科野菜	2	0.31	0.4	0.1	0.2	0.0	0.6	0.1	0.6	0.1
トマト	2	0.44	64.2	14.0	38.0	8.3	64.0	14.0	73.2	16.0
ピーマン	5	2.1	24.0	10.3	11.0	4.7	38.0	16.3	24.5	10.5
なす	2	0.4	24.0	4.8	4.2	0.8	20.0	4.0	34.2	6.8
その他のなす科野菜	2	1.1	2.2	1.2	0.2	0.1	2.4	1.3	2.4	1.3
きゅうり（ガーキンを含む。）	1	0.28	20.7	5.8	9.6	2.7	14.2	4.0	25.6	7.2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	1	0.31	9.3	2.9	3.7	1.1	7.9	2.4	13.0	4.0
すいか	2 ●	2	15.2	15.2	11.0	11.0	28.8	28.8	22.6	22.6
メロン類果実	2 ●	2	7.0	7.0	5.4	5.4	8.8	8.8	8.4	8.4
まくわうり	2 ●	2	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0
その他のうり科野菜	1	0.28	2.7	0.8	1.2	0.3	0.6	0.2	3.4	1.0
オクラ	3	0.63	4.2	0.9	3.3	0.7	4.2	0.9	5.1	1.1
しょうが	2	0.28	3.0	0.4	0.6	0.1	2.2	0.3	3.4	0.5
未成熟えんどう	2	0.78	3.2	1.3	1.0	0.4	0.4	0.2	4.8	1.9
未成熟いんげん	2	0.54	4.8	1.3	2.2	0.6	0.2	0.1	6.4	1.7
えだまめ	3	1.1	5.1	1.8	3.0	1.1	1.8	0.6	8.1	2.8
その他の野菜	10	3.1	134.0	41.7	63.0	19.6	101.0	31.4	141.0	43.9
みかん	2 ●	2	35.6	35.6	32.8	32.8	1.2	1.2	52.4	52.4
なつみかんの果実全体	3	1.0	3.9	1.4	2.1	0.7	14.4	5.0	6.3	2.2
レモン	5	2.3	2.5	1.2	0.5	0.2	1.0	0.5	3.0	1.4
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	5	2.3	35.0	16.1	73.0	33.6	62.5	28.8	21.0	9.7
グレープフルーツ	5	2.3	21.0	9.7	11.5	5.3	44.5	20.5	17.5	8.1
ライム	5	2.3	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2
その他のかんきつ類果実	5	2.3	29.5	13.6	13.5	6.2	12.5	5.8	47.5	21.9
りんご	2	0.6	48.4	14.5	61.8	18.5	37.6	11.3	64.8	19.4
日本なし	2	0.67	12.8	4.3	6.8	2.3	18.2	6.1	15.6	5.2
西洋なし	2	0.67	1.2	0.4	0.4	0.1	0.2	0.1	1.0	0.3
もも	2 ●	2	6.8	6.8	7.4	7.4	10.6	10.6	8.8	8.8
ネクタリン	0.6	0.16	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ぶどう	4	0.73	34.8	6.4	32.8	6.0	80.8	14.7	36.0	6.6
かき	2	0.79	19.8	7.8	3.4	1.3	7.8	3.1	36.4	14.4
マンゴー	5	1.6	1.5	0.5	1.5	0.5	0.5	0.2	1.5	0.5
なたね	0.01	0.01	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
くり	2 ●	2	1.2	1.2	0.6	0.6	0.2	0.2	1.4	1.4
茶	10	2.8	66.0	18.5	10.0	2.8	37.0	10.4	94.0	26.3
その他のスパイス	20	9.2	2.0	0.9	2.0	0.9	2.0	0.9	4.0	1.8
その他のハーブ	0.7	0.23	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	1.0	0.3
陸棲哺乳類の肉類	7	筋肉 0.061 脂肪 2	403.9	25.9	301.7	19.3	450.8	28.9	287.0	18.4
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	0.5	0.081	0.7	0.1	0.4	0.1	2.4	0.5	0.5	0.1
陸棲哺乳類の乳類	0.5	0.15	132.1	39.6	166.0	49.8	182.3	54.7	108.0	32.4
家禽の肉類	1 ●	1	21.4	21.4	15.3	15.3	22.7	22.7	16.1	16.1
家禽の卵類	0.4 ●	0.4	16.6	16.6	13.3	13.3	19.3	19.3	15.2	15.2
魚介類	0.8	0.25	74.5	23.3	31.7	9.9	42.6	13.3	91.8	28.7

エトフェンプロックス推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	一般（1歳以上）TMDI	一般（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）TMDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）TMDI	高齢者（65歳以上）EDI
計			1764.9	606.2	1164.5	379.9	1754.9	567.7	1855.8	708.4
ADI比（%）			103.3	35.5	227.7	74.3	96.8	31.3	106.7	40.7

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）
EDI:推定１日摂取量（Estimated Daily Intake）
●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。
ネクタリン、ぶどう、なたね、陸棲哺乳類の肉類、陸棲哺乳類の食用部分及び陸棲哺乳類の乳類については、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。
「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面（湖や河川）魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留量を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留量を0として算出した係数（0.31）を推定残留量に乗じた値を用いてEDI試算した。
「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

エトフェンプロックス推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	0.5	0.5	3.2	0
小麦	小麦	0.5	0.5	0.7	0
大麦	大麦	0.5	0.5	0.4	0
	麦茶	0.5	0.5	0.4	0
とうもろこし	スイートコーン	0.3	0.3	3.4	0
大豆	大豆	0.2	0.2	0.2	0
小豆類	いんげん	0.2	0.2	0.3	0
らっかせい	らっかせい	0.05	0.05	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.05	0.5	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.1	0.1	0.5	0
かんしょ	かんしょ	0.03	0.03	0.4	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.1	0.1	0.8	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	2	2	23.1	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	10	10	82.6	8
かぶ類の根	かぶの根	2	2	14.7	1
かぶ類の葉	かぶの葉	10	10	26.6	3
はくさい	はくさい	5	5	64.8	6
キャベツ	キャベツ	2	2	19.1	2
ブロッコリー	ブロッコリー	10	10	60.1	6
その他のあぶらな科野菜	たかな	1	1	7.8	1
	菜花	1	1	2.8	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	2	11.3	1
	非結球レタス類	2	2	8.1	1
	レタス	2	2	11.5	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	2	7.6	1
わけぎ	わけぎ	2	2	4.0	0
みつば	みつば	5	5	4.0	0
その他のせり科野菜	せり	2	2	3.3	0
トマト	トマト	2	2	21.9	2
ピーマン	ピーマン	5	5	12.8	1
なす	なす	2	2	12.9	1
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	2	2	3.2	0
	ししとう	2	2	2.0	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1	1	6.3	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	1	1	9.8	1
	ズッキーニ	1	1	7.2	1
すいか	すいか	2	2	65.9	7
メロン類果実	メロン	2	2	34.0	3
その他のうり科野菜	とうがん	1	1	17.0	2
	にがうり	1	1	8.1	1
オクラ	オクラ	3	3	4.4	0
しょうが	しょうが	2	2	1.8	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2	2	3.3	0
	未成熟えんどう（豆）	2	2	3.4	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	2	3.9	0
えだまめ	えだまめ	3	3	7.6	1
その他の野菜	ずいき	10	10	101.2	10
	もやし	10	10	22.9	2
	れんこん	10	10	62.2	6
	そら豆（生）	10	10	29.4	3
みかん	みかん	2	2	18.7	2
なつみかんの果実全体	なつみかん	3	3	37.3	4
レモン	レモン	5	5	10.5	1
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	5	5	47.0	5
	オレンジ果汁	5	5	49.7	5
グレープフルーツ	グレープフルーツ	5	5	86.1	9
その他のかんきつ類果実	きんかん	5	5	12.0	1
	ぽんかん	5	5	52.6	5
	ゆず	5	5	7.9	1
	すだち	5	5	7.9	1
りんご	りんご	2	2	28.6	3
	りんご果汁	2	2	21.2	2
日本なし	日本なし	2	2	30.3	3
西洋なし	西洋なし	2	2	28.1	3
もも	もも	2	2	27.1	3
ぶどう	ぶどう	4	4	53.9	5
かき	かき	2	2	28.6	3
マンゴー	マンゴー	5	5	67.4	7

エトフェンプロックス推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 （ppm）	評価に用いた数値 （ppm）	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD （%）
くり	くり	2	2	4.3	0
茶	緑茶類	10	10	6.1	1

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

エトフェンプロックス推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	0.5	0.5	5.4	1
小麦	小麦	0.5	0.5	1.5	0
大麦	大麦	0.5	0.5	0.3	0
	麦茶	0.5	0.5	0.9	0
とうもろこし	スイートコーン	0.3	0.3	7.2	1
大豆	大豆	0.2	0.2	0.2	0
らっかせい	らっかせい	0.05	0.05	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.05	1.1	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.1	0.1	1.3	0
かんしょ	かんしょ	0.03	0.03	0.8	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.1	0.1	1.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	2	2	43.7	4
はくさい	はくさい	5	5	78.4	8
キャベツ	キャベツ	2	2	31.3	3
ブロッコリー	ブロッコリー	10	10	144.1	10
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	2	19.6	2
	非結球レタス類	2	2	27.8	3
	レタス	2	2	17.7	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	2	13.0	1
トマト	トマト	2	2	54.3	5
ピーマン	ピーマン	5	5	32.7	3
なす	なす	2	2	31.3	3
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1	1	14.6	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	1	1	16.0	2
すいか	すいか	2	2	173.1	20
メロン類果実	メロン	2	2	58.6	6
オクラ	オクラ	3	3	13.0	1
しょうが	しょうが	2	2	3.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2	2	2.5	0
	未成熟えんどう（豆）	2	2	3.6	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	2	8.1	1
えだまめ	えだまめ	3	3	8.4	1
その他の野菜	もやし	10	10	41.9	4
	れんこん	10	10	102.8	10
みかん	みかん	2	2	54.8	5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	5	5	134.7	10
	オレンジ果汁	5	5	89.2	9
りんご	りんご	2	2	64.2	6
	りんご果汁	2	2	67.5	7
日本なし	日本なし	2	2	57.5	6
もも	もも	2	2	84.8	8
ぶどう	ぶどう	4	4	122.5	10
かき	かき	2	2	41.8	4
茶	緑茶類	10	10	9.6	1

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

（参考）

これまでの経緯

昭和６２年　４月１３日	初回農薬登録
平成１７年１１月２９日	残留農薬基準告示
平成２１年　２月　４日	農林水産省から厚生労働省へ基準値設定依頼（魚介類及び畜産物）
平成２１年　２月１７日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２１年１１月１９日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２３年　３月１５日	残留農薬基準告示
平成２５年　３月２９日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：みつば及びマンゴー）
平成２５年　６月１１日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定係る食品健康影響評価について要請
平成２５年　８月　５日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２７年　３月２６日	残留農薬基準告示
平成２６年１１月２１日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：きび、ブロッコリー及びほうきぎ）
平成２７年　１月　８日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定係る食品健康影響評価について要請
平成２７年　６月　９日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２７年１１月　２日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成２７年１１月　４日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２８年　５月２７日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

穐山　浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井　里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
○大野　泰雄	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団理事長
尾崎　博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤　貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐々木　一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤　清	一般財団法人残留農薬研究所技術顧問
佐野　元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山　敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本　了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村　睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部組合員活動部部長
宮井　俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田　克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成　浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授
鰐渕　英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

（○：部会長）

答申（案）

エトフェンプロックス

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.5
小麦	0.5
大麦	0.5
ライ麦	0.5
とうもろこし	0.3
その他の穀類[注1)]	3
大豆	0.2
小豆類[注2)]	0.2
えんどう	0.05
そら豆	0.05
らっかせい	0.05
その他の豆類[注3)]	0.05
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.1
かんしょ	0.03
やまいも（長いもをいう。）	0.1
てんさい	0.3
さとうきび	0.03
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10
かぶ類の根	2
かぶ類の葉	10
はくさい	5
キャベツ	2
芽キャベツ	2
ブロッコリー	10
その他のあぶらな科野菜[注4)]	1
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2
その他のきく科野菜[注5)]	2
ねぎ（リーキを含む。）	2
わけぎ	2
みつば	5
その他のせり科野菜[注6)]	2
トマト	2
ピーマン	5
なす	2
その他のなす科野菜[注7)]	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	1
すいか	2
メロン類果実	2
まくわうり	2
その他のうり科野菜[注8)]	1
オクラ	3
しょうが	2
未成熟えんどう	2

注1）「その他の穀類」とは、穀類のうち、米、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2）いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。

注3）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注5）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注7）「その他のなす科野菜」とは，なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注8）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

食品名	残留基準値 ppm
未成熟いんげん	2
えだまめ	3
その他の野菜[注9)]	10
みかん	2
なつみかんの果実全体	3
レモン	5
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	5
グレープフルーツ	5
ライム	5
その他のかんきつ類果実[注10)]	5
りんご	2
日本なし	2
西洋なし	2
もも	2
ネクタリン	0.6
ぶどう	4
かき	2
マンゴー	5
なたね	0.01
くり	2
茶	10
その他のスパイス[注11)]	20
その他のハーブ[注12)]	0.7
牛の筋肉	0.5
豚の筋肉	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物[注13)]の筋肉	0.5
牛の脂肪	7
豚の脂肪	7
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	7
牛の肝臓	0.5
豚の肝臓	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.5
牛の腎臓	0.5
豚の腎臓	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.5
牛の食用部分[注14)]	0.5
豚の食用部分	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.5
乳	0.5
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん[注15)]の筋肉	0.01
鶏の脂肪	1
その他の家きんの脂肪	1
鶏の肝臓	0.06
その他の家きんの肝臓	0.06

注9)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注10)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注11)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注12)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注13)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注14)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注15)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

食品名	残留基準値 ppm
鶏の腎臓	0.06
その他の家きんの腎臓	0.06
鶏の食用部分	0.06
その他の家きんの食用部分	0.06
鶏の卵	0.4
その他の家きんの卵	0.4
魚介類	0.8
干しぶどう	8